SXC CLOUD - SharePoint 版

ユーザーガイド

目次

1	概要	4
1.1	SXC CLOUD (Smart XML Creator Cloud)とは	4
1.2	SharePoint のデータモデル	5
1.3	コンテンツ作成の流れ	6
1.4	サポートする XML 文書タイプ	6
1.5	オプション	7
1.6	使用許諾書条件	7
2	SharePoint の基本操作	8
2.1	サイト/ドキュメントライブラリー関連の操作	8
2.1.1	目的のサイトを検索する	8
2.1.2	ドキュメントライブラリーを選択する	8
2.2	ファイル/フォルダー関連の操作	9
2.2.1	フォルダーを新規作成する	9
2.2.2	ファイルを新規作成する	. 10
2.2.3	ファイル/フォルダーを選択する	. 11
2.2.4	ファイル/フォルダーを削除する	. 11
2.2.5	ファイルをチェックアウトする	. 12
2.2.6	ファイルをチェックインする	. 12
2.2.7	ファイルを以前の内容に戻す	. 13
2.3	その他の操作	. 13
2.3.1	クイックビューを見る	. 13
2.3.2	列一括更新をする	. 14
2.3.3	[オプション] 機械翻訳をする	. 17
3	XML 文書ファイルの編集	.19
3.1	SXC CLOUD の画面構成	. 19
3.2	基本操作	. 20
3.2.1	XML 文書ファイルを開く	. 20
3.2.2	XML 文書ファイルを閉じる	. 20
3.2.3	XML 文書ファイルを保存する	. 21
3.2.4	バージョンを表示する	. 22
3.2.5	URL をクリップボードヘコピーする	. 22
3.2.6	URL をメールで送信する	. 23
3.2.7	最大表示をする/最大表示解除をする	. 23
3.3	ビジュアルエディターで編集する	. 24

7 —	. <i>++</i> °_	- + 1	~
	・リー	-11-1	Γ

3.3.1	ビジュアルエディター・タブ	24
3.3.2	プレビュー・ペイン	25
3.3.3	ツリー・ペイン	29
3.3.4	属性・ペイン	30
3.3.5	ミニツールバー	32
3.3.6	コンテキストメニュー【開発予定】	33
3.3.7	ブロック要素を編集する	35
3.3.8	テキストやインライン要素を編集する	38
3.3.9	元に戻す/やり直し	41
3.3.10	画像を追加/編集する	42
3.3.11	SVG 描画キャンバスを追加/編集する	42
3.3.12	リンクを追加/編集する	44
3.3.13	リストを追加/編集する	44
3.3.14	表を追加/編集する(CALSテーブル)	45
3.3.15	表を追加/編集する(非 CALS テーブル)	48
3.3.16	XML スニペットを挿入する	48
3.3.17	XML 検証をする	49
3.3.18	[オプション] スペルチェックをする	50
3.3.19	[オプション] 不適切表現チェックをする	50
3.4	テキストエディターで編集する	51
3.4.1	テキストエディター・タブ	51
3.4.2	すべての出現箇所を変更する	52
3.4.3	ドキュメントのフォーマットをする	52
3.4.4	テキストの切り取り/コピー/貼り付けをする	52
3.4.5	コマンドを実行する	53
3.4.6	テキストの検索/置換をする	54
3.4.7	元に戻す/やり直し	55
3.5	改訂履歴を閲覧する	56
3.5.1	履歴/比較・タブ	56
3.5.2	比較結果の表示スタイル	57
3.5.3	編集中のバージョンと比較する	58
3.5.4	過去のバージョンを比較する	59
3.5.5	ビジュアル比較をする	60
4	DITA 特有の機能	62
4.1	画像を参照する	62
4.1.1	画像を直接参照する	62
4.2	トピックまたはマップ・ファイルを参照する	63
4.2.1	トピックまたはマップ・ファイルを直接参照する	63
4.3	再利用コンテンツを参照する	64
4.3.1	再利用コンテンツを直接参照する	64

ユーザーガイド

5	データのインポート	.65
5.1	ファイル/フォルダーをインポートする	65
5.2	インポートできるファイルタイプ	65
5.2.1	インポートできる XML 文書ファイルタイプ	65
5.2.2	インポートできる画像ファイルタイプ	65
6	データのエクスポート	.66
6.1	ファイル/フォルダーをエクスポートする	66
7	アプリケーションの設定	67
8	補足資料	.68
8.1	SXC CLOUD のショートカットキー	68
8.1.1	編集系	68
8.1.2	検索と置換	69
8.1.3	選択/カーソル移動系	69
8.1.4	画面移動系	70
8.1.5	UI 制御など	70
8.2	サポートする XML 文書タイプ	71
8.2.1	Darwin Information Typing Architecture (DITA) Version 1.3	71
8.3	Schematron 機能でできるチェック	72
8.3.1	文字数制限	72
8.3.2	文字とp要素についての制限	72
8.4	XML スニペット機能でできる入力	73
8.4.1	リストアイテム追加	73
9	困ったときは	.74
9.1	よくある質問	74
9.1.1	SharePoint で XML 文書ファイルを選択しても、XML 編集・ボタンが表示されない	v 7 4
9.1.2	SharePoint の画面更新が遅い場合がある	74
9.1.3	SharePoint で XML を検索直後に開くと、画像などのリンクが壊れている	74
9.1.4	要素を選択したとき、プレビュー・ペインの表示が崩れる	75
10	サポート情報	.76
11	発行情報	77

1 概要

1.1 SXC CLOUD (Smart XML Creator Cloud)とは

SXC CLOUD[™] (Smart XML Creator Cloud)は、DITA (Darwin Information Typing Architecture) に対応した XML 文書編集アプリケーションです。

DITA は、個々の XML 文書をトピックと呼ばれる小さな単位で作成し、マップと呼ばれる文書 目次で繋げることで1つの出版物を構成します。マップ間でトピックを共用すれば、コンテン ツ作成の労力を抑えつつ、様々な出版物を作成することができます。

さらに、keyref、conref や conkeyref といった DITA 特有機能を使えば、コンテンツの再利用や フィルタリングを行うことができます。これらの機能は出版をさらに効率化します。

私たち株式会社シイエム・シイは、複雑な DITA を、XML のプロフェッショナルだけでなく一 般のお客様にもお使いいただけるようにしたいと考えています。従って、SXC CLOUD のユー ザーインターフェースは、ワープロと大差ない容易さで DITA の機能が使えるよう、シンプル にデザインされています。

1.2 SharePoint のデータモデル

SXC CLOUD は、SharePointのデータモデルに則り、下図の構成でデータを管理します。



テナント	システム構成最上位の単位です。	
	ユーザー企業がマイクロソフト社と契約するとテナントが発	
	行されます。	
	テナントは複数の「サイトコレクション」を持つことができ	
	ます。	
	補足:システム管理者によって作成されます	
サイトコレクション	複数サイトをまとめて管理する管理単位です。	
	サイトコレクションは複数の「サイト」を持つことができま	
	す。	
	補足: システム管理者によって作成されます	
サイト	情報共有のための単位です。	
	サイト名を持ち、共同編集のため作業場所など、何らかの作	
	業目的のために作成されます。	
	サイトは複数の「ドキュメントライブラリー」を持つことが	
	できます。	
	補足:システム管理者によって作成されます	
ドキュメントライブラリー	ファイル/フォルダーの入れ物です。	
	補足:システム管理者によって作成されます	
ファイル/フォルダー	コンテンツです。	
	補足: ライターが自由に作成/削除することができます	

1.3 コンテンツ作成の流れ

SXC CLOUD を用いたコンテンツ作成の流れは次の通りです。

1 ドキュメントライブラリーの選択/データのインポート

最初に、XML 文書ファイルや画像を管理するための	参照: <u>2.1.2</u> :ドキュメントラ
入れ物となる「ドキュメントライブラリー」を選択	イブラリーを選択する
します。	参照: <u>2.2.1</u> :フォルダーを新
他のシステムで作成した DITA トピック・ファイル	規作成する
や DITA マップ・ファイルがある場合は、ドキュメ	参照: 5.1:ファイル/フォル
ントライブラリーにドラッグアンドドロップするこ	ダーをインポートする
とで一括インポートできます。	

2 トピック・ファイルの作成と編集

フォルダーにトピック・ファイル(トピック系テン	参照: <u>2.2.2</u> :XML 文書ファ
プレートが組み込まれた XML 文書ファイル)を作成	イルを新規作成する
して、内容を編集します。	参照: <u>3</u> :XML 文書ファイル
	の編集

注意:トピック・ファイル(XML文書ファイル)の中で画像を使用する場合は、あらかじめ画像ファイルをドキュメントライブラリーにインポートしておく必要があります。

3 マップ・ファイルの作成と編集

フォルダーにマップ・ファイル(マップ系テンプレ	参照: <u>2.2.2</u> :XML 文書ファ
ートが組み込まれた XML 文書ファイル)を作成し	イルを新規作成する
て、内容を編集します。この内容が、文書の構造 (文	参照: <u>3</u> :XML 文書ファイル
書目次)となります。	の編集

補足:マップ・ファイルから参照するトピック・ファイルは、同じドキュメントライブラ リーに登録されているトピック・ファイルであれば、自由に使用することができます。

4 データのエクスポート

作成したマップ・ファイル(およびそれに紐づくト	参照: <u>6.1</u> :ファイル/フォル
ピック・ファイル)を、エクスポートします。	ダーをエクスポートする

1.4 サポートする XML 文書タイプ

SXC CLOUD がサポートする XML 文書タイプは以下を参照してください。

参照: <u>8.2</u>:サポートする XML 文書タイプ

1.5 オプション

SXC CLOUD は、以下のオプションを組み込むことができます。

項目	解説	補足
マイクロソフト コグニティ ブ・サービス 連携オプション	 以下のことができるようになります。 参照: <u>2.3.3</u>:機械翻訳をする 参照: <u>3.3.18</u>:スペルチェックをする 参照: <u>3.3.19</u>:不適切表現チェックをする 	ご利用にあたっては、当オ プション購入および設定の 他、マイクロソフト社との コグニティブ・サービス利 用契約が必要です。

1.6 使用許諾書条件

©2020株式会社シイエム・シイ

株式会社シイエム・シイの書面による承諾を得ずに、本書のすべてまたは一部を複製すること は禁じられています。

この文書には、Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています。

DITA Demonstration Content Collection (<u>https://github.com/gnostyx/dita-demo-content-collection</u>)

2 SharePoint の基本操作

2.1 サイト/ドキュメントライブラリー関連の操作

2.1.1 目的のサイトを検索する

目的のサイトを検索し、開く手順を示します。

1. 画面左上の SharePoint・ボタンをクリックします。

III SharePoint	▶ このライブラリを検索
sc SXC CLOUD DEMO	

2. 検索・テキストボックスに、目的のサイトのサイト名を入力し、Enter を押すと、検索結 果が表示されます。

::: SharePoint	♀ SharePoint 内を検索	0	?	Q
十 サイトの作成 + ニュースの投稿を作成				
				^

3. 検索結果の中から目的のサイトを探し、クリックすると、目的のサイトを開くことができ ます。

2.1.2 ドキュメントライブラリーを選択する

ドキュメントライブラリーを選択する手順を示します。

1 目的のサイトを開きます。

参照: <u>2.1.1</u>:目的のサイトを検索する

2 画面左側のリストから「ドキュメント」をクリックすると、ドキュメントライブラリーを 選択できます。

補足:ドキュメントライブラリーのデフォルト名称は「ドキュメント」です。名称が「ド キュメント」でなくても、画面右側に「すべてのドキュメント」と表示されていればそれ はドキュメントライブラリーです。

::: SharePoint	₽ このライブラリを検索		ब 💩 ? 🧕
sc SXC CLOUI	D DEMO	パブリック グルーフ	′☆ フォローしていません ── ♀ 21 人のメンバー
ホーム	↑ 新規 〜 🕴 アップロード 〜 🖉 クイッ	ク編集 🕃 同期 …	= すべてのドキュメント 🗸 🕕 🦯
共有済み			
ドキュメント	ドキュメント		
サイトコンス	□ 名前 ∨	更新日時 🗁 更新者	ă ∨ 列の追加 ∨
<i>こみ</i> 箱 ドキュメ	マントライブラリー	すべてのドキ	コメント
従来の SharePoint の表示に 戻す	• 4		

2.2 ファイル/フォルダー関連の操作

2.2.1 フォルダーを新規作成する

フォルダーを新規作成する手順を示します。

1 トップバーで [+新規>フォルダー]を選択します。

	+ 新規 ∨ ↑ アップロード、	< 🖉 クイック
•	🚬 フォルダー	
	🔊 Word 文書	了案件 > X>
- E	🖬 Excel ブック	
	😰 PowerPoint プレゼンテーション	
	🔊 OneNote ノートブック	
	🔊 Excel 用 Forms	JMBER_OF_DRIV
	🕀 リンク	
	🖉 [新規] メニューの編集	JMBER_OF_DRIV
	+ テンプレートの追加	
	GENERAL_DESCRIPTIO	N.dita

2 フォルダーの作成・ダイアログボックスにフォルダー名を入力し、作成・ボタンを押す と、フォルダーが作成されます。



2.2.2 ファイルを新規作成する

XML 文書ファイルを新規作成する手順を示します。

- 1 XML 文書ファイルを作りたいフォルダーに移動します。
- 2 トップバーで [XML 追加]を選択します。
- 3 XML 追加・ダイアログボックスの空欄を埋め、OK・ボタンを押すと、フォルダー内に XML 文書ファイルが作成されます。

XML追加		
XMLファイル情報	を入力してください。	
ファイル名: *		
	-	
XML タイプ: *		2
TMC TI Topic		
XML言語: *		
日本語		
XMLバージョン:		

1	ファイル名	XML 文書のファイル名を入力します
		注意: 拡張子も含めて入力してください。
2	XML タイプ	XML 文書タイプを選択します
		また、選択した XML 文書タイプによって、XML 文書フ ァイルの種類が決まります。
		 トピック系の XML 文書タイプが設定されたファイル は、トピック・ファイルです
		 マップ系の XML 文書タイプが設定されたファイル は、マップ・ファイルです
		(参照: <u>8.2</u> :サポートする XML 文書タイプ)
3	XML言語	XML 文書ファイルの言語を選択します
4	XML バージョン	XML 文書ファイルのバージョンをテキストで入力できま す。

2.2.3 ファイル/フォルダーを選択する

ファイル/フォルダーを選択する手順を示します。

1 行をクリックするとファイルを選択できます。(複数選択もできます)

		haiki-houhou.xml	5月21日	本村 圭史	ja-jp	廃棄について	topic
0	۲	hinban-kanri-nanba-wo-siraber 🖄 🗄	5月21日		ja-jp	品番・管理ナンバーを 調べる	topic
		hoshou-kiteixml.xml	5月21日	村主史	ja-jp	保証規定	topic
				•			

2.2.4 ファイル/フォルダーを削除する

ファイル/フォルダーを削除する手順を示します。

1 削除したいファイル/フォルダーを選択します。

	\square	名前 ~			更新日時 ~
0		image	Ŕ	:	8月27日
		CHECK_THE_SERIAL_NUMBER_OF	DRIVE	R	8月27日
		CHECK_THE_SERIAL_NUMBER_OF	_DRIVE	R	8月27日

2 トップバーで [削除]を選択します。

ピー ↓ ダウンロード 📋 削除	… >	🗙 1 ፖイテ
場処置] 完了案件 > XX-01 >	完成品 > X	(X-01_CH
	更新日時 🗁	更
<u>iè</u> :	8月27日	本
	8日27日	*

3 削除しますか?・ダイアログボックスの、削除する・ボタンを押すと、ファイル/フォル ダーが削除されます。



2.2.5 ファイルをチェックアウトする

ファイルをチェックアウトする手順を示します。

1 ファイルを選択し、[:>その他>チェックアウト]をクリックすると、ファイルをチェック アウトできます。チェックアウトすると他のユーザーが変更を保存できなくなります。

		sindou-va-iiouon-ishu-ga-hassei-suru.xml	通知	# ≠ ₽	suiteki-ga-otitekuruxmi X +
			その他 >	プロパティ	← → C
0		suiteki-ga-otitekuru.xml 🖻 🗄	XML追加	ワークフロー	 ① 他のユーザーがチェックアウト中のため、保存できませんでした。
		-	XML編集	コンプライアンス詳細	XML編集 (suiteki-ga-otitekuru.xml : ja-jp : -)
)	switch-wo-iretemo-ugokanai.xml	クイックビュー	チェックアウト 📉	同ビジュ フテキストエディタ ③履歴/比較
			列一括更新		y 2 √ 3 √
			チェックアウト中	に、他のユーザーが変更を低	呆存しようとすると、「他のユ
			ーザーがチェック	アウト由のため 保存できる	ませんでした」と表示され 保
			ケール パノエノノ		
			<u> </u>		

2.2.6 ファイルをチェックインする

ファイルをチェックインする手順を示します。

1 チェックアウトされているファイルを選択し、[*>その他>チェックイン]をクリックする と、ファイルをチェックインできます。チェックインするとファイルに変更が適用されま す。チェックアウトを破棄し、変更を破棄することもできます。



2.2.7 ファイルを以前の内容に戻す

ファイルを以前の内容に戻す手順を示します。

- 1 ファイルを選択し、[:>バージョン履歴]をクリックすると、バージョン履歴・パネルが表示されます。
- 2 戻したい時点の更新日時をクリックすると出るドロップダウンメニューで、復元・ボタン をクリックすると、その時点の内容が最新の内容として登録されます。

2.3 その他の操作

2.3.1 クイックビューを見る

クイックビューを見る手順を示します。

 1 画面上部にあるクイックビュー・ボタンをクリックすると、開いているフォルダー階層に ある XML 文書ファイルのサムネイル一覧を見ることができます。

除 一口 上部に固定	■ 名前の変更	△ XML追加	〇 XML編集	△ クイックビュー	··· × 1 アイテ
データ > topic	> after-serv	ice			

alana (0-72-888		- 0 0 1
ックピューマテイル表示			<u> </u>	SXE CLOUD
				77-118
where the product of the state.	Constant of State State	CONTRACTOR AND INCOME.	Annual Contraction of the Con	
24時間時間構成が企業 らない	時久長・報務時 100-1000	換点器・報告題につい て	数価性能・確保性能が 進わた	
618-689-103 (1020) 8-1099-7-107		ALL ADVALUES TAXAN IN TRACTORY	AND ARROWS THAT	
en al la falonita y dese Al CARE				
和5.25日前的核心包括	排水用·排水和用用	運転中に振動や武家	水油や使いて三が落ち	
しにくくなった。 縮固 外給が深たた	積から狭いゴミが落ち てくる	B. MR57R275	2 < 2	
decise: regis		AND AND A AN	ARCONORD-	
	1		is successford	
スイッチを入れても働				

2.3.2 列一括更新をする

列一括更新をする手順を示します。

1 画面上部にある列一括更新・ボタンをクリックすると、列一括更新・ダイアログボックス が開きます。

: 🖷 Excel にエクスポート 🗅 XML追加 🗅 クイックビュー 🗅 列一括更新 🗅 機械翻訳 …

2 列一括更新・ダイアログボックスを設定し、一括更新・ボタンをクリックすると、現在開いているフォルダー階層にある XML 文書ファイルからメタデータを自動抽出し、SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列に一括反映します。(参照: <u>2.3.2.1</u>: SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列)

列一括更新	× *
更新対象と列を選択してください。	×
更新対象:	
更新列: 2	1
XMLタイプ ● 除外	
XML タイトル ● 除外	
XML言語 日本語 / 3 ・ 1ファイル: ・ ・	
^{0%} コンソール:	
5]
1 更新対象 - すべてのファイル: 現在開いているフォルダー	に保
存されているすべての XML 文書ファイルが翻訳 になります。	尺対象
ー 選択ファイル:ダイアログボックスを開く前に	選択
していた XML 文書ファイルが翻訳対象になりま	ます。

ユーザーガイド

2	更新列	 列ごとに一括更新の対象にするか、除外するかを設定することができます。列についての詳細は、以下を参照してください。 参照: <u>2.3.2.1</u>: SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列 	
3	プログレスバー	進捗を表示します。	
4	コンソール	実行ログが表示されます。	
5	一括更新・ボタン	クリックすると、一括更新が実行されます。	

2.3.2.1 SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列

XML 文書ファイルのメタデータは、SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列で管理されま す。SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列は、SharePoint のドキュメントライブラリーで 確認できます。

SharePoint				₽ このライブラリを	検索	
sc SXC CLOU	d demo					
ホーム	開く ∨ 🖻 共有 🐵 リンクをコピー 🚽 ダウン	/ロード 💼 削除 🗝 上部に	固定 🛋 名前の変更	다 XML追加 [m] 列一打	活更新 🎥 機械翻訳	SXC設定
Manuals						
Demo	Demo					
自分たちと共有	🗋 名前 🗸	XMLタイプ 〜	XML タイトル ∨	XML言語 ~	XMLバージョン 〜	XML検証 ~
ドキュメント	config					
eCTD Test	DITA_Sample					
	- - - - - - - - - -					

SXC CLOUD 固有の SharePoint サイト列 表示場所

$3XUUUUU \square \square \square \cup 3 \square \square \square U \cup 1 \square ∪ 1 □ ∪ 1 \square ∪ 1 □ ∪ 1 ∪ 1$	SXC CLOUD	<i>固有の</i> Sha	arePoint サイ	ト列	項目一	昏
---	-----------	----------------	-------------	----	-----	---

XML タイトル	XML文書ファイルのタイトルを示すテキストです。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新実行時に更新されます。
XML タイプ	XML 文書ファイルに指定されている DTD から判定された XML 文書タイプです。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新実行時に更新されます。
	– 参照: <u>3.3.17</u> :XML 検証をする
	- 参照: <u>8.2</u> :サポートする XML 文書タイプ
	補足:XML 文書ファイル内の DTD 指定は、テキストエディター・タブでファイルの 冒頭を見ると確認できます。
	以下の場合、指定されている DTD は「topic.dtd」です。
	xml version="1.0" encoding="utf-8"? topic PUBLIC "-//OASIS//DTD DITA Topic//EN" "topic.dtd"
XML言語	XML文書ファイルの言語設定です。
	XML文書ファイル内の言語指定子(xml:lang)とは連動していません。
	XML 文書ファイル新規作成時、列一括更新時に指定できます。
XMLバージョン	XML文書ファイルのバージョンです。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新実行時にテキストを指定できます。
	- 参照: <u>3.2.3</u> :XML 文書ファイルを保存する
XML 検証	XML文書ファイルの検証結果です。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新実行時に更新されます。
	– 参照: <u>3.3.17</u> :XML 検証をする
XML コメント	XML文書ファイルのコメントです。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新実行時にテキストを指定できます。
	- 参照: <u>3.2.3</u> :XML 文書ファイルを保存する
XML Text	XML 文書ファイルから抽出された検索対象のテキストです。
Content	SharePoint 内で検索する場合、このテキストが検索対象となります。
	XML 文書ファイル保存時、列一括更新時に更新されます。
自動抽出タグ	【開発予定】

2.3.3 [オプション] 機械翻訳をする

機械翻訳をする手順を示します。

- 1 画面上部にある機械翻訳・ボタンをクリックすると、機械翻訳・ダイアログボックスが開きます。
- 2 機械翻訳・ダイアログボックスを設定し、翻訳実行・ボタンをクリックすると、翻訳対象のファイル全てが翻訳されます。

注意:XML 文書ファイルを翻訳すると、翻訳前の内容が翻訳後の内容で上書きされます。 翻訳前の内容を残したい場合は、XML 文書ファイルを複製してから機械翻訳を実行してく ださい。



1	翻訳言語	翻訳ターゲットの言語を指定します。		
2	翻訳対象	 すべての XML:現在開いているフォルダーに保存されているすべての XML 文書ファイルが翻訳対象になります。 		
		 選択 XML:ダイアログボックスを開く前に選択して いた XML 文書ファイルが翻訳対象になります。 		
3	XML ファイルコメント	翻訳後の XML 文書ファイルに付与する XML ファイルコ メントを指定できます。		
4	プログレスバー	進捗を表示します。		

SXC CLOUD - SharePoint 版

ユーザーガイド

5	コンソール	実行ログが表示されます。
6	翻訳実行・ボタン	クリックすると、翻訳が実行されます。

3 XML 文書ファイルの編集

3.1 SXC CLOUD の画面構成

SXC CLOUDの画面構成を示します。



1	ビジュアルエディター・タブ	参照: <u>3.3</u> :ビジュアルエディターで編集する
2	テキストエディター・タブ	参照: <u>3.4</u> :テキストエディターで編集する
3	履歴/比較・タブ	参照: <u>3.5</u> :改訂履歴を閲覧する
4	コンテンツ画面	選択したタブに応じたコンテンツが表示されま す。

 \bigcirc sxc cloud \times

3.2 基本操作

3.2.1 XML 文書ファイルを開く

SXC CLOUD で XML 文書ファイルを開くための手順を示します。

- 編集したい XML 文書ファイルがあるフォルダーに移動します。 1
- 2 XML 文書ファイルを選択し、画面上部にある「XML 編集」ボタンをクリックすると、 SXC CLOUD で XML 文書ファイルを開くことができます。



3 SXC CLOUD が起動し、XML 文書ファイルが編集可能な状態になります。

XML編集 (xf-25uk8004noogd2898e5pshnfcd_ja.dita : ja-jp : 1.0)	1
---	---

œ۲

₽g ~ </:

	Smart XML Creator
ジュ アルエディタ □ テキストエディタ □ 履歴/比較	
	v ··· v
トビック ヨタイトル・マスタにリソースを登録する かまだがき・マスタ ▷ トビック本文 ロラキモスト・コンテンツ内に画像や動画を加 → トビック本文 ロッテキスト・コンテンツ内に画像や動画を動して、 ロッテキスト + ~ I ~ I ~ U ~ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	

SXC CLOUD では、以下の操作を行うことができます

できること	参照
XML 文書の保存	<u>3.2.3</u> :XML 文書を保存する
ビジュアルエディターで編集	<u>3.3</u> :ビジュアルエディターで編集する
テキストエディターで編集	<u>3.4</u> :テキストエディターで編集する
過去に保存したものとの比較	<u>3.5</u> :改訂履歴を閲覧する

XML 文書ファイルを閉じる 3.2.2

SXC CLOUD で XML 文書ファイルを保存せずに閉じるための手順を示します。

画面右下の閉じる・ボタンを押すと、XML 文書ファイルが閉じます。 1

crass conaction conkeyref	- ւսյու/ ի	 コノベッドッノ 1) 最近表示した場所 コイブラリ 	荣.jpg	了了。 砂漠.jpg	アジサイ.jpg	クラゲ.jpg	ی روز. جرد				•
SXC CLOUD for SI	harePoint							2	🗄 保存	╳ 閉じる]

2	2 SXC CLOUD が終了し、SharePoint が操作可能な状態になります。							
:::: SharePoint								
sc SXC CLOU	JD DE	МО						
木- <i>L</i> ,	Ľ	② 共有 ⊙ リンクをコピー 🎍 ダウンロード 💼 削除 +a 上部に固定 📫 名前の変更 🗅 XML追加 🕞 XML編集 ⊘ クイックビュー 🖂 列一括更新 🏇 機械翻訳 🥵 自動化 ∨ 🗈 移動 …						

3.2.3 XML 文書ファイルを保存する

SXC CLOUD で XML 文書ファイルを保存するための手順を示します。

画面右下の保存・ボタンを押すと、保存確認・ダイアログボックスが表示されます。

conaction	•	 ■ ノスシバック 1 最近表示した場所 マライブラリ E 	菊.jpg 砂漠.jpg	アジサイ.jpg クラゲ.jpg	בייק בתב בתב			Ŧ
SXC CLOUD for SharePoint					lê ∨ [2	日 保存	× 閉じる	

3 保存確認・ダイアログボックスを設定し、OK・ボタンを押すと、XML文書ファイルが保存されます。

保存確認
変更を保存しますか?
XMLパージョン: 1
1.0
XMLファイルコメント: 2
3
✓ 自動抽出タグを更新する。
✓ OK × キャンセル

1	XML バージョン	XML 文書ファイルのバージョンをテキストで入力できま す。
2	XML ファイルコメント	XML 文書ファイルのコメントをテキストで入力できま す。
3	自動抽出タグを更新す る・チェック	【開発予定】
4	OK・ボタン	保存を実行します。

3.2.4 バージョンを表示する

SXC CLOUD でバージョンを表示するための手順を示します。

1 画面左下の「1」を押すと、バージョン・パネルが表示されます。

2	3
SXC CLOUD for SharePoint X version: 0.111.3.0 xmltype: topic licnese: 2020/07/02 - 2020/12/31 2020/07/02 - 2020/12/31 Copyright 2020 CMC Corporation. All rights reserved.	
SXC CLOUD for SharePoint	

1	アプリ名	アプリ名を表示します。	
2	バージョン・パネル	各種情報を表示します。	
3	閉じる・ボタン	バージョン・パネルを閉じます。	

3.2.5 URL をクリップボードヘコピーする

SXC CLOUD でバージョンを表示するための手順を示します。

 画面右下「1」のプルダウンメニューの中から「2」を選択すると、エディタの現在の URL がクリップボードにコピーされます。

conkeyref	2 🔒 URLをクリップボードヘコピー
conref	└── URLをメールで送信
SXC CLOUD for SharePoint	· ピ → 2 G 保存 X 閉じる

3.2.6 URL をメールで送信する

SXC CLOUD でバージョンを表示するための手順を示します。

 1 画面右下「1」のプルダウンメニューの中から「2」を選択すると、URLをメールで送信・ パネルが表示されます。

conkeyref	 □ URLをクリップボードへコピー □ URLをメールで送信
SXC CLOUD for SharePoint	1 🖉 🗸 🔓 🔀 🕅 🕅 🕅 🖓 🖉

2 画面右下「1」の送信・ボタンを押すと、入力した内容が宛先に送信されます。(差し出し元アドレスは、「no-reply@sharepointonline.com」となります)

URLをメールで送信	×
宛先	
此 名	
SXC edit URL (名称未設定: lixil-dita.dita)	
本文	
<u>SXC edit URL (名称未設定: lixil-dita.dita)</u>	
	× キャンセル

3.2.7 最大表示をする/最大表示解除をする

SXC CLOUD でバージョンを表示するための手順を示します。

 1 画面右下の「1」を押すと、SXC CLOUD の表示範囲を、画面全体に合わせて拡張します。

	1	
SXC CLOUD for SharePoint		× 閉じる

1	最大表示・ボタン	SXC CLOUDの表示範囲を、画面全体に合わせて拡張し
		ます。再度押すと、元の表示範囲に戻します。

3.3 ビジュアルエディターで編集する

3.3.1 ビジュアルエディター・タブ

ビジュアルエディター・タブの画面構成を示します。ビジュアルエディターは、文書型定義に 基づく入力支援機能を持ちます。

⇔sx	C CLOUD	22413328_ja-JR.dita
3	<u>ディタ</u> クテキストエディタ 目回歴/出版 0 · 2	
 ✓ A concept ↔ title 	t - Attribute and parame	
↔ short > > prole > ↔ conb	tdesc - Use attributes among - attributes and one of the sector of the s	and parameter syntax
-	Attribut	
	prolog • (Ope	の の の の の の の の の の の の の の
	metadata : keywords :	attributes syntax parameters syntax attributes syntax parameters syntax シェル ・ アード加
-	conbody :	は 7年期回知 名 切り取り Ctri+X も ロッピー Ctri+C
4	An attribute a div :	d a parameter can co-exist in one commat
	General synt	ix guidelines for attribute parameters: tes and parameters can appear in any order after the command foundation, either attribute before parameter, or parameter before attribute.
product.	nul or, wa	tributes are usually a scale of fixed measurements, for example the attribute severity takes the alarms scale sub-attributes of: all, minor, maj ning.
xml:lang	null Sub-al	tributes are applied as a group of possible choices to delimit an attribute or concatenated attributes. sible expressions of a foundation class are in the Syntax section of the command.
base conaction	null y in ac	ue or autoutes and parameters is in part cenned by user choices and in part by the design soluture or the CL, to provide as much nexibilit cess to information possible.
importance	null section :	5
6	0	公孫 第0-55
1	コマンドバー	参照: <u>3.3.3</u> :ツリー・ペイン
		参照: <u>3.3.2</u> :プレビュー・ペイン
		参照: <u>3.3.9</u> :元に戻す/やり直し
		参照: <u>3.3.16</u> :XML スニペット
		参照: <u>3.3.17</u> :XML 検証
		参照: <u>3.3.18</u> :スペルチェック
		参照: <u>3.3.19</u> :不適切表現チェック
2	プレビュー・ペイン	参照: <u>3.3.2</u> :プレビュー・ペイン
3	ツリー・ペイン	参照: <u>3.3.3</u> :ツリー・ペイン
4	属性・ペイン	参照: <u>3.3.4</u> :属性・ペイン
5	ボトムバー	参照: <u>3.2.2</u> :XML 文書ファイルを閉じる
		参照: <u>3.2.3</u> :XML 文書ファイルを保存する
		参照: <u>3.2.4</u> :バージョンを表示する
		参照: <u>3.2.5</u> :URL をクリップボードヘコピーする
		参照: <u>3.2.6</u> :URL をメールで送信する
		参照: <u>3.2.7</u> :最大表示をする/最大表示解除をする
6	ミニツールバー	参照: <u>3.3.5</u> :ミニツールバー

ユーザーガイド

7	コンテキストメニュー	参照:	<u>3.3.6</u> :コンテキストメニュー
---	------------	-----	--------------------------

3.3.2 プレビュー・ペイン

プレビュー・ペインには XML 要素が表示されます。XML 要素とは、XML 文書を構成する基本 要素です。文や表など、プレビュー・ペイン内で選択できるものは全て XML 要素です。

XML編集 (tmc-task3.dita : ja-JP : 1.0) 3 5 7 9	
■ビジュ bエディタ ジテキストシティタ ③ 歴/比較 を	<pre></pre>
	shortdesc:読者が何をすべきかということを、必要な情報を含めて、手順を追って説明するトピック。 prolog - (Closed):
	taskbody :
属性名 属性植	prereq: 現在のタスクを開始する前にユーザーが知っておく必要があること、または実行する必要があることに ついて記述する。
	context: タスクの実行目的や、タスク完了によって何が得られるのかを記述する。
	steps :
	Step 1 読者が行う1つの操作(行為)を記述する。
	Step 2 読者が行う1つの操作(行為)を記述する。
	result -
SXC CLOUD for SharePoint	☆ ∨
1 プレビュー・ペ	イン XML 要素を表示します。表示の詳細は以下を参照してく ださい。
	- 参照: <u>3.3.2.1</u> :XML 要素のタイプ(全般)

-	参照:	<u>3.3.2.2</u>	XML	.要素の	タイプ	(DITA 特	有)

2	ツリーノードを自動で閉 じる・ボタン	参照: <u>3.3.3</u> :ツリー・ペイン
3	メタデータ系要素を閉じ る・ボタン	 ボタン ON: プレビュー・ペイン内で、メタデータ系 XML 要素(prolog 要素など、背景が灰色のブロック 要素)の表示が閉じます。
		 ボタン OFF: プレビュー・ペイン内で、メタデータ 系 XML 要素の表示が開きます。

SXC CLOUD - SharePoint 版

ユーザーガイド

4	要素名を非表示にする・ ボタン	 ボタン ON: プレビュー・ペイン内で、XML 要素名が非表示になります。 ボタン OFF: プレビュー・ペイン内で、XML 要素名が表示されます。
5	要素名を翻訳する・ボタ ン	 ボタン ON: プレビュー・ペイン内および UI 内で、 XML 要素名/XML 属性名が翻訳されます。 ボタン OFF: プレビュー・ペイン内および UI 内で、 XML 要素名/XML 属性名が翻訳されます。
6	元に戻す・ボタン	参照: <u>3.3.9</u> :元に戻す/やり直し
7	やり直し・ボタン	参照: <u>3.3.9</u> :元に戻す/やり直し
8	履歴・ボタン	参照: <u>3.3.9</u> :元に戻す/やり直し
9	XML スニペット・ボタン	参照: <u>3.3.16</u> :XML スニペット

3.3.2.1 XML 要素のタイプ(全般)

プレビュー・ペインに表示される XML 要素のタイプを示します。

補足:XML 要素名は、プレビュー・ペインもしくはツールチップで表示されます。

補足:複数のタイプに属する XML 要素もあります。

XML 要素のタイプ	ビジュアル表現	テキスト表現
ブロック要素 文書構造の主要な構成要素です。	section :	<section> … </section>
パラグラフ要素 ブロック要素のうち、テキスト入 力ができる要素です。 要素を選択中、Enter キーを押す ことで、テキスト編集モードとブ	An attribute and a parameter can co-exist ir can co-exist in a single command. 選択時 - テキスト編集モード: An attribute and a parameter can co-exist i can co-exist in a single command.	
ロック編集モードを切り替えるこ とができます。 テキスト編集モード時、パラグラ フ要素の中に含まれるインライン 要素は、 II のように表現されま す。 (選択時: II)	選択時 - ブロック編集モード: An attribute and a parameter can co-exist ir can co-exist in a single command. ※マウスをパラグラフ要素の上に近づける と、背景色が灰色に変化します	

XML 要素のタイプ	ビジュアル表現	テキスト表現
インライン要素 パラグラフ要素の中に配置できる 要素です。 要素を選択中、Enter キーを押す ことで、テキスト編集モードとブ ロック編集モードを切り替えるこ とができます。 テキスト編集モード時、インライ ン要素の中に含まれるインライン 要素は、 ■ C のように表現されま す。(選択時: ■ C)	/d2/var/captures. 選択時 - テキスト編集モード: % filepath ● ~ B I U ■ /d2/var/captures. The 選択時 - ブロック編集モード: % filepath ● ~ ● ~ ⇔ ~ /d2/var/captures. The	<filepath> </filepath>
空要素(子要素を持ち得ない) 子要素を持つことができない要素 です。	• toc : ※角丸の長方形で表現されます	<toc></toc>
空要素(子要素を持ち得る) 子要素を持つことができるが、子 要素を持っていない要素です。	section: section - empty ※要素の中に空要素のサイン(empty)が表 示されます	<section></section> または <section> </section>
id を持つ要素	Current directory (".") and parent director he relative path definition. ※左端に紫色の帯が表示されます	

3.3.2.2 XML 要素のタイプ(**DITA** 特有)

プレビュー・ペインに表示される XML 要素のタイプ(DITA 特有のもの)を示します。

補足:XML 要素名は、プレビュー・ペインもしくはツールチップで表示されます。

補足:複数のタイプに属する XML 要素もあります。

XML 要素のタイプ	ビジュアル表現	テキスト表現
マップまたはトピック・ファ イルを参照する要素 トピック・ファイルを参照す る要素	• topicref : ☞ ※背景が紫色で塗られます	<topicref href="xx"> … </topicref

XML 要素のタイプ	ビジュアル表現	テキスト表現
画像を参照する要素 画像を参照する要素		<image href="xx"/>
キー経由でコンテンツを参照 する要素 マップ・ファイルにあるキー を経由してコンテンツを参照 する要素	• topictef : ♂ ※背景が紫色のボーダーで塗られます	<topicref keyref="xx"> … </topicref
再利用コンテンツを参照する 要素 再利用コンテンツを参照する 要素	再利用元が要素ひとつの場合: li - Reuse source ID: xx ※左端と上端に太線が引かれます 	<li conref="aa/xx"> </li
	再利用元が範囲選択の場合: li - Reuse source ID: xx ※全ての辺に太線が引かれます 	conref="aa/xx" conrefend="yy">
キー経由で再利用コンテンツ を参照する要素 マップ・ファイルにあるキー を経由して再利用コンテンツ を参照する要素	 再利用元が要素ひとつの場合: Ⅰi - Reuse source ID: xx ※左端と上端に太い破線が引かれます 再利用元が範囲選択の場合: 	conkeyref="aa/xx">
	Ii - Reuse source ID: xx ※全ての辺に太い破線が引かれます	<pre>conkeyref="aa/xx" conrefend="yy"> </pre>

3.3.3 ツリー・ペイン

ツリー・ペインの画面構成を示します。



1	ノード・ボタン	- 開:ノードが開かれ、子孫要素が表示されます。
		- 閉:ノードが閉じられ、子孫要素が非表示になります。
2	XML 要素・アイコン	要素にちなんだアイコンが表示されます。
3	XML 要素名	XML 要素名が表示されます。
4	XML 要素・テキスト 内容	XML 要素が持つテキスト内容が表示されます。
5	ツリーノードを自動で 閉じる・ボタン	 ボタンON:ツリー・ペイン内で、選択中の要素とその 祖先要素のノードだけが自動で開かれ、それ以外は閉じ られます。 ボタンOFF:ツリー・ペイン内で、ノードの開閉を手動 で行うことができます。

3.3.4 属性・ペイン

属性・ペインの画面構成を示します。

		_		
		属性	値	
		outputclass	null	
		product	null	
	2	platform	null	3
		xml:lang	null	
		base	null	
		conaction	null	
		importance	null	
		xtrf	null	
		conref	null	
1	屋性リフ	χ μ	プレビュー・ペインま	たはツリー・ペインで要素を選択
-		、 1	すると、その要素に設定	定できる属性の一覧が表示されま
			す。	
2	属性名·	・ラベル	属性名が表示されます。	5
			属性がある場合、ラベ	ル文字が濃色になります。
			id	abcde
			属性がない場合、何も	表示されません。
			id	null

SXC CLOUD - SharePoint 版

ユーザーガイド

3	属性値・テキストボック ス	属性値が入力できます。属性値を指定すると、選択中の 要素に属性および属性値が設定されます。
		属性があり、属性値がない場合、何も表示されません。
		id
		必須属性がない、または属性値がない場合、背景が赤色 になります。【開発予定】
		id
		DTD で、属性に列挙値が指定されている場合、プルダウ ンメニューで属性値を選択することができます。
		status
		translate
		xml:lang changed
		注意: 必須属性には属性値が必ず必要です。DITA 規格に 従って属性値を入力してください。
		注意: 入力内容のチェックは行っていません。DITA 規格
		注意: 属性値を設定するには、メタデータを開閉する・ ボタンなどを押す必要があります

3.3.5 ミニツールバー ミニツールバーの画面構成を示します。 補足:ミニツールバーは、選択している XML 要素や編集モードによって変化し、使える機能 だけが表示されます。



パラグラフ要素 / インライン要素

1	XML 要素名表示	選択中の要素の XML 要素名が表示されます	
2	要素追加メニュー	ブロック要素:	
		- 参照: <u>3.3.7.2</u> :ブロック要素を追加する	
		インライン要素:	
		- 参照: <u>3.3.8.2</u> :インライン要素を追加する	
3	プロパティ	参照: <u>4.1</u> :画像を参照する	
		参照: <u>4.2</u> :トピックまたはマップ・ファイルを参照す	
		3	
		参照: <u>4.3</u> :再利用コンテンツを参照する	
4	ブロック要素の移動	参照: <u>3.3.7.3</u> :ブロック要素を移動する - プレビュ	
		ー・ペイン	
5	∨ (ブロック要素)	ブロック要素:	
	(インライン要素)	- 参照: <u>3.3.7.5</u> :ブロック要素を削除する	
		- 参照: <u>3.3.7.6</u> :ブロック要素の切り取り/コピー	
		/貼り付けをする	
		インライン要素:	
		- 参照: <u>3.3.8.7</u> :インライン要素を削除する	
		 参照: <u>3.3.8.8</u>:テキストやインライン要素の切り 取り/コピー/貼り付けをする 	

ユーザーガイド

6	文字装飾	参照: <u>3.3.8.3</u> :文字装飾を適用する	
7	特殊文字	参照: <u>3.3.8.4</u> :特殊文字を挿入する	
8	インライン画像	参照: <u>3.3.8.5</u> :インライン画像を挿入する	
9	インラインリンク	参照: <u>3.3.8.6</u> :インラインリンクを挿入する	
10	ID 生成	選択中の要素に、ID 属性および自動生成した属性値を追 加します。	
11	閉じる	ミニツールバーを閉じます。	

3.3.6 コンテキストメニュー【開発予定】

コンテキストメニューの画面構成を示します。

補足:コンテキストメニューの表示は、選択している XML 要素や編集モードによって変化し、使える機能だけが表示されます。



1	XML 要素名表示	選択中の要素の XML 要素名が表示されます
2	要素追加メニュー	ブロック要素:
		- 参照: <u>3.3.7.2</u> :ブロック要素を追加する
		インライン要素:
		- 参照: <u>3.3.8.2</u> :インライン要素を追加する

ユーザーガイド

3	要素の切り取り/コピー	ブロック要素:
	/貼り付け	 参照: <u>3.3.7.6</u>:ブロック要素の切り取り/コピー /貼り付けをする
		インライン要素:
		 参照: <u>3.3.8.8</u>:テキストやインライン要素の切り 取り/コピー/貼り付けをする
4	要素の削除	ブロック要素:
		- 参照: <u>3.3.7.5</u> :ブロック要素を削除する
		インライン要素:
		- 参照: <u>3.3.8.7</u> :インライン要素を削除する

3.3.7 ブロック要素を編集する

ブロック要素とは、文書を構成する基本要素です。文や表など、プレビュー・ペイン内で選択 することができるもののほとんど全てはブロック要素です。

以降では、ビジュアルエディター・タブでブロック要素を編集するための方法を示します。

3.3.7.1 ブロック要素を選択する

ビジュアルエディター・タブでブロック要素を選択するための方法を示します。

- ブロック要素をクリックすると、要素が選択され、要素の背景色が水色に変化します。
- 選択されると同時に、ミニツールバーが表示されます。
- ブロック要素が選択された状態で右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

注意:ブロック要素を選択したとき表示が崩れる場合は、以下の指示に従ってください。

- 参照: 9.1.4:要素を選択したとき、プレビュー・ペインの表示が崩れる
- 3.3.7.2 ブロック要素を追加する ビジュアルエディター・タブでブロック要素を追加するための手順を示します。
 - 1 プレビュー・ペインで、新たに要素を追加したい場所の付近にある要素を選択し、ミニツ ールバーを表示させます。
 - 2 以下何れかのボタンにマウスカーソルを乗せ、要素リストを開きます。
 - **要素追加・ボタン:** 最初に選択した要素の弟位置もしくは子位置に追加できる要素 を掲載した要素リストを展開します。
 - 上追加・ボタン: 最初に選択した要素の兄位置(上)に追加できる要素を掲載した 要素リストを展開します。
 - **下追加・ボタン:** 最初に選択した要素の弟位置(下)に追加できる要素を掲載した 要素リストを展開します。
 - **子要素追加・ボタン:** 最初に選択した要素の子位置に追加できる要素を掲載した要素リストを展開します。
 - 3 要素リストの中から望みの要素を選択すると、その要素が XML 文書ファイルに追加されま す。
- 3.3.7.3 ブロック要素を移動する プレビュー・ペイン

ビジュアルエディター・タブのプレビュー・ペインでブロック要素を移動するための手順を示 します。

- 1 プレビュー・ペインで、移動したい要素を選択し、ミニツールバーを表示させます。
- 2 ミニツールバーの矢印ボタンを押すと、その方向に要素が移動します。
 - ↑ **・ボタン:** 兄方向に要素が移動します。
 - ↓ **・ボタン**: 弟方向に要素が移動します。
 - **\ ・ボタン:** 親方向に要素が移動します。

• \・ボタン: 子方向に要素が移動します。

3.3.7.4 ブロック要素を移動する - ツリー・ペイン
 ビジュアルエディター・タブのツリー・ペインでブロック要素を移動するための手順を示します。

事前に、自動ノード開閉・ボタンを OFF にします。

補足:自動ノード開閉・ボタンが ON のままだと、ツリー・ペインでノードを選択するたびに ツリーノードが閉じてしまい、自由にノードを選択することができません。

 ツリー・ペインで、移動したい要素をドラッグ(要素上でマウスボタンを押したままカー ソルを移動する)します。

要素をドラッグすると、挿入予定位置が実線/▶記号で示されます。

- 実線/▶記号が黒色で示される場合は、文書構造に合致しており移動できます。
- 実線/▶記号が表示されない場合は、文書構造に合致しておらず移動できません。
- 2 要素を挿入したい位置でドロップ(マウスボタンを放す)すると、要素が挿入したい位置 に移動されます。
- 3.3.7.5 ブロック要素を削除する ビジュアルエディター・タブでブロック要素を削除するための手順を示します。
 - 1 プレビュー・ペインで、削除したい要素を選択し、ミニツールバーを表示させます。
 - 2 ミニツールバーの右端にあるボタンにマウスカーソルを乗せ、編集メニューを開きます。
 - 3 要素削除を選択すると、選択中の要素が削除されます。

補足:ショートカットキーを用いても同じ操作ができます。

- 削除: Delete
- 3.3.7.6 ブロック要素の切り取り/コピー/貼り付けをする
 ビジュアルエディター・タブでブロック要素を切り取り/コピー/貼り付けするための手順を示します。
 - プレビュー・ペインで、切り取り/コピーしたい要素を選択し、ミニツールバーを表示させます。
 - 2 ミニツールバーの右端にあるボタンにマウスカーソルを乗せ、編集メニューを開きます。
 - 3 切り取りまたはコピーを選択します。
 - 4 最初に選択した要素が、クリップボードに移動またはコピーされます。
 - 5 要素を貼り付けたい場所の付近にある要素を選択します。
 - 6 ミニツールバーの右端にあるボタンにマウスカーソルを乗せ、編集メニューを開きます。
 - 7 貼り付けを選択すると、要素が張り付けられます。
補足:コンテキストメニューを用いても同じ操作ができます。

補足:ショートカットキーを用いても同じ操作ができます。

- 切り取り: Ctrl+X
- ⊐ピー: Ctrl+C
- 貼り付け: Ctrl+V

3.3.8 テキストやインライン要素を編集する

3.3.8.1 テキストを編集する

ビジュアルエディター・タブで、テキストを編集する手順を示します。

事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素またはインライン要素を選択します。編集モー ドがテキスト編集モードに切り替わります。

1 キーボードを使ってテキストを編集します。一般的なテキストエディター・ソフトウェア と同じマナーで編集することができます。

2 Enter キーを押し、編集内容を確定します。

補足:テキストを途中で分割したい場合は、テキストを分割したい位置にカーソルを置き、ショートカットキーShift+Enterを押してください。テキストが分割され、カーソルの右側が次の 行になります。

- 3.3.8.2 インライン要素を追加する
 ビジュアルエディター・タブで、インライン要素を追加する手順を示します。
 事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー
 ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。
 - 1 テキストの中からインライン要素を適用したい部分を選択します。
 - 2 ミニツールバーの要素追加・ボタンにマウスカーソルを乗せ、要素リストを開きます。
 - **3** 要素リストの中から望みの要素を選択すると、ステップ1で選択した部分がインライン要素で囲われます。
- 3.3.8.3 文字装飾を適用する

ビジュアルエディター・タブで、テキストに文字装飾を適用する手順を示します。

事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。

- 1 テキストの中から文字装飾を適用したい部分を選択します。
- 2 ミニツールバーで以下何れかのボタンを押すと、文字装飾が適用されます。
 - **太字・ボタン:** ステップ1で選択した部分に太字が適用されます。
 - **斜体・ボタン:** ステップ1で選択した部分に斜体が適用されます。
 - **下線・ボタン:** ステップ1で選択した部分に下線が適用されます。
 - **上付き・ボタン:** ステップ1で選択した部分に上付きが適用されます。
 - 下付き・ボタン: ステップ1で選択した部分に下付きが適用されます。

補足:文字装飾はインライン要素の一種です。Delete キーで削除できます。

3.3.8.4 特殊文字を挿入する

ビジュアルエディター・タブで、テキストに特殊文字を挿入するための手順を示します。 事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。

- 1 文字列の中の特殊文字を挿入したい場所にカーソルを配置します。
- 2 ミニツールバーで特殊文字・ボタンを押すと、特殊文字パレットが開きます。
- 3 特殊文字パレットの中から特殊文字を選択し、**OK・ボタン**をクリックすると、ステップ1 のカーソル位置に特殊文字が挿入されます。

補足:SXC CLOUD では、特殊文字は通常の文字(キーボードから入力できる文字)と同じように扱われます。Delete キーや Back space キーで削除できます。

- 3.3.8.5 インライン画像を挿入する
 ビジュアルエディター・タブで、テキストにインライン画像を挿入する手順を示します。
 事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー
 ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。
 - 1 文字列の中の特殊文字を挿入したい場所にカーソルを配置します。
 - 2 ミニツールバーで**画像・ボタン**を押すと、画像の設定・ダイアログボックスが開きます。
 - **3** 画像の設定・ダイアログボックスで画像を選択し、設定・ボタンを押すと、ステップ1の カーソル位置に画像が挿入されます。

補足:インライン画像はインライン要素の一種です。Delete キーで削除できます。

- 3.3.8.6 インラインリンクを挿入する
 ビジュアルエディター・タブで、テキストにインラインリンクを挿入する手順を示します。
 事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー
 ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。
 - 1 文字列の中の特殊文字を挿入したい場所にカーソルを配置します。
 - 2 ミニツールバーでリンク・ボタンを押すと、参照の設定・ダイアログボックスが開きます。
 - 3 参照の設定・ダイアログボックスで画像を選択し、設定・ボタンを押すと、ステップ1の カーソル位置にリンクが挿入されます。

補足:インラインリンクはインライン要素の一種です。Delete キーで削除できます。

3.3.8.7 インライン要素を削除する

ビジュアルエディター・タブで、インライン要素を削除する手順を示します。

事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。

- 1 削除するインライン要素の左側(▶の左側)にカーソルを配置します。
- 2 Delete キーを押すと、インライン要素が削除されます。

3.3.8.8 テキストやインライン要素の切り取り/コピー/貼り付けをする ビジュアルエディター・タブで、テキスト(インライン要素を含む)を切り取り/コピー/貼

ビジュアルエティダー・ダブで、テキスト(イブライン要素を含む)を切り取り/コピー/貼 り付けするための手順を示します。

事前に、プレビュー・ペインでパラグラフ要素を選択します。編集モードがテキスト編集モー ドに切り替わり、ミニツールバーが表示されます。

- 1 切り取り/コピーしたいテキストを範囲選択します。
- 2 ミニツールバーの右端にあるボタンにマウスカーソルを乗せ、編集メニューを開きます。
- 3 切り取りまたはコピーを選択します。
- **4** ステップ1で選択したテキストが、クリップボードに移動またはコピーされます。
- 5 テキストを貼り付けたい場所にカーソルを配置します。
- 6 ミニツールバーの右端にあるボタンにマウスカーソルを乗せ、編集メニューを開きます。
- 7 貼り付けを選択すると、テキストが張り付けられます。

補足:コンテキストメニューを用いても同じ操作ができます。

補足:ショートカットキーを用いても同じ操作ができます。

- 切り取り: Ctrl+X
- ・ ⊐ピー: Ctrl+C
- 貼り付け: Ctrl+V

3.3.9 元に戻す/やり直し

ビジュアルエディター・タブで、編集操作を元に戻したり編集操作をやり直したりするには、 以下の二通りのやり方があります。

コマンドバーの UI を使用する:

- う_{元に戻す}
- _ ぐゃり直し
- ・ アルダウンメニュー内に編集履歴が記録されます。メニュー内の任意の場所 をクリックすると、その時点の状態に戻すことができます。

ショートカットキーを使用する:

- 元に戻す: Ctrl+Z
- やり直し: Ctrl+Y

注意:各タブの編集履歴は独立しています。タブでビジュアルエディターからテキストエディ ターに切り替えると、ビジュアルエディター側の編集履歴の記録は止まり、テキストエディタ ー側の編集履歴の記録が始まります。この際、ビジュアルエディター側の編集履歴は破棄され ます。

3.3.10 画像を追加/編集する

XML 文書ファイルに画像系要素を追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

画像系要素 (一例)

XML 要素名	内容
image	画像を参照します
keydef	キーに紐づく画像を参照します(マップ・ファイルで使用)
hazardsymbol	画像を参照します
glossSymbol	画像を参照します
startflag	画像を参照します
endflag	画像を参照します

画像系要素を編集するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7</u>:ブロック要素を編集する
- 参照: <u>4.1</u>:画像を参照する

3.3.11 SVG 描画キャンバスを追加/編集する

XML 文書ファイルに SVG 描画キャンバスを追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

SVG 描画キャンバス

XML 要素名	内容
svg-container	SVG 描画キャンバスのグループ。
svg:svg	SVG 描画キャンバス

SVG 描画キャンバスに要素を追加するには、以下の手順に従います。

- 1 SVG 描画キャンバス (svg:svg 要素)を選択します
- 2 ミニツールバーのボタンを押すと、それに応じた処理が実行されます

ボタン	処理内容
テキスト追加	テキストを追加します
	- テキストはドラッグで移動できます
	- テキストは Delete キーで削除できます

ボタン	処理内容
線追加	直線を追加します
	- 直線はドラッグで移動できます
	- 直線は Delete キーで削除できます
	- 直線はコントロールポイントを移動することで長さと角度を変
	えることができます
画像	画像を追加します
	- 参照: <u>4.1.1</u> :画像を直接参照する
	- 画像はドラッグで移動できます
	- 画像は Delete キーで削除できます

SVG 描画キャンバスの要素の重なりを編集するには、以下の手順に従います。

- 1 SVG 描画キャンバス (svg:svg 要素) を選択します
- 2 ミニツールバーのボタンを押すと、それに応じた処理が実行されます

ボタン	処理内容
最前面に移動	選択中の要素を最前面に移動します
前面に移動	選択中の要素を全面に移動します
背面に移動	選択中の要素を背面に移動します
最背面に移動	選択中の要素を最背面に移動します

3.3.12 リンクを追加/編集する

XML 文書ファイルにリンク系要素を追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

リンク系要素(一例)

XML 要素名	内容
topicref	トピックまたはマップ・ファイルを参照します(マップ・フ ァイルで使用)
keydef	トピックまたはマップ・ファイルを参照し、キーに紐づけま す(マップ・ファイルで使用)
mapref	マップ・ファイルを参照します(マップ・ファイルで使用)

リンク系要素を編集するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7</u>:ブロック要素を編集する
- 参照: <u>4.2</u>:トピックまたはマップ・ファイルを参照する

3.3.13 リストを追加/編集する

XML 文書ファイルにリスト系要素を追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

リスト系要素

XML 要素名	内容
ol	番号付きリスト
ul	番号なしリスト

リスト系要素を編集するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7</u>:ブロック要素を編集する

補足:リストにリストアイテム(li 要素)を追加したい場合は、すでにあるリストアイテムを 選択し、ショートカットキーShift+Enterを押してください。選択していたリストアイテムの下 に、新たなリストアイテムが追加されます。

ユーザーガイド

3.3.14 表を追加/編集する(CALS テーブル)

XML 文書ファイルに表(CALS テーブル)を追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

表 (CALS テーブル) 要素

XML 要素名	内容
table	表(CALS テーブル)

表(CALS テーブル)を編集するには、以下の手順に従います。

entry 要素を選択したとき:

- 1 表の中のセル(entry 要素)を選択すると、ミニツールバーが表示されます
- 2 ボタンを押すと、それに応じた処理が実行されます

ボタン	処理内容
子要素追加	参照: <u>3.3.7.2</u> :ブロック要素を追加する
セル編集	ドロップダウンメニュー:
	- 罫線: セル罫線の設定
	- 横位置:セル内の行揃え(水平位置)
	- 縦位置:セル内の行揃え(垂直位置)
右のセルと結合	ステップ1で選択したセルを右側のセルと結合します
下のセルと結合	ステップ1で選択したセルを下側のセルと結合します
セル結合を解除	ステップ1で選択したセルの結合を解除します

ボタン	処理内容
行編集	ドロップダウンメニュー:
	- 罫線: セル罫線の設定
	- 横位置:セル内の行揃え(水平位置)
	- 縦位置:セル内の行揃え(垂直位置)
	- 上に行を挿入: ステップ1で選択したセルの上側に新しい行を 追加します
	- 下に行を挿入: ステップ1で選択したセルの下側に新しい行を 追加します
	- 行の切り取り:【開発予定】
	- 行のコピー:【 開発予定】
	- 行の貼り付け:【開発予定】
	- 行を削除: ステップ1で選択したセルのある行を削除します
上へ移動	行を上へ移動します
下へ移動	行を下へ移動します
列編集	ドロップダウンメニュー:
	- 罫線: セル罫線の設定
	- 横位置:セル内の行揃え(水平位置)
	- 縦位置:セル内の行揃え(垂直位置)
	 左に列を挿入:ステップ1で選択したセルの左側に新しい列を 挿入します
	- 右に列を挿入:ステップ1で選択したセルの右側に新しい列を 挿入します
	- 列の切り取り:【開発予定】
	- 列のコピー:【 開発予定】
	- 列の貼り付け:【開発予定】
	- 列を削除: ステップ1で選択したセルのある列を削除します
列を左に移動	列を左へ移動します
列を右に移動	列を右へ移動します
閉じる	ミニツールバーを閉じる

table 要素を選択したとき:

1 表全体(table 要素)を選択すると、ミニツールバーが表示されます

2 ボタンを押すと、それに応じた処理が実行されます

ボタン	処理内容
tgroup 作成	tgroup 要素を追加する
外枠罫線	表全体の外枠罫線を設定する

tgroup 要素を選択したとき:

- 1 表の中(tgroup 要素)を選択すると、ミニツールバーが表示されます
- 2 ボタンを押すと、それに応じた処理が実行されます

ボタン	処理内容
上に要素追加	参照: <u>3.3.7.2</u> :ブロック要素を追加する
下に要素追加	参照: <u>3.3.7.2</u> :ブロック要素を追加する
見出し行	tgroup に見出し行がない場合、見出し行を追加する
全セル編集	ドロップダウンメニュー:
	- 罫線:tgroup 内の全セル罫線の設定
	- 横位置:tgroup 内の全セル内の行揃え(水平位置)
	- 縦位置:tgroup 内の全セル内の行揃え(垂直位置)
右のセルと結合	ステップ1で選択したセルを右側のセルと結合します
下のセルと結合	ステップ1で選択したセルを下側のセルと結合します
セル結合を解除	ステップ1で選択したセルの結合を解除します
上へ移動	tgroup を上へ移動します
下へ移動	tgroup を下へ移動します

3.3.15 表を追加/編集する(非 CALS テーブル)

XML 文書ファイルに表(非 CALS テーブル)系要素を追加するには、以下の手順に従います。

- 参照: <u>3.3.7.2</u>:ブロック要素を追加する

XML 要素名	内容
dl	句見出しリスト
parml	パラメーターリスト
simpletable	簡潔テーブル
properties	プロパティテーブル。コマンドのオプションや関数の引数 などの説明を表形式で記述します。
choicetable	選択テーブル
reltable	関連テーブル(マップ・ファイルで使用)
subjectRelTable	サブジェクト関連テーブル(マップ・ファイルで使用)
topicSubjectTable	- トピックサブジェクト関連テーブル(マップ・ファイルで 使用)

表	(非CALS	テーブル)	彩鱼峯
1		/ ////	ハメホ

表(非 CALS テーブル)系要素を編集するには、以下の手順に従います。

- 参照: 3.3.7:ブロック要素を編集する

補足:テーブルの中に行を追加したい場合は、すでにある行の右端にある◀を選択し、ショートカットキーShift+Enterを押してください。選択していた行の下に、新たな行が追加されます。

3.3.16 XML スニペットを挿入する

XML 文書ファイルに XML スニペット(複数の XML 要素を組み合わせたもの)を挿入するに は、以下の手順に従います。

- 1 コマンドバーにある[³ →]のプルダウンメニューで項目を選択すると、XML 文書ファイルに、選択した項目に応じた XML スニペットが挿入されます。
 - 参照: <u>8.4</u>: XML スニペット機能でできる入力

3.3.17 XML 検証をする

XML 文書ファイルで XML 検証をするには、以下の手順に従います。

- コマンドバーで[…>XML 検証]を選択すると、プレビュー画面の右側に、XML 検証・ペインが表示されます。
- 2 XML 文書ファイル内に XML の誤りが発見された場合は、XML 検証・ペインにある「エラ ーリスト:」の下に、ヒットした XML の誤りが列挙されます。

補足:XML検証・ペインのトグルスイッチを操作することで、XMLの誤りを検出するための方式を選択することができます。

 DTD・トグルスイッチを ON にする:XML 文書ファイルが、XML タイプ・列で指定 された XML 文書タイプ(DTD)に対して妥当な構造をしているか否かをチェックし ます。

補足:XML 文書ファイルに指定されている XML 文書タイプは、ドキュメントライブ ラリーの XML タイプ・列で確認できます。

以下の場合、指定されている XML 文書タイプは「topic」です。



補足:実際には、XML文書タイプに紐づけられた DTD(XML構造の定義)に従って 構造の妥当さが検証されます。

XML 文書タイプと DTD の紐づきは以下で定義されています。

- 参照: <u>8.2</u>:サポートする XML 文書タイプ

実際の DTD の保存場所は以下に記載されています。

- 参照: <u>7</u>:アプリケーションの設定

- Schematron・トグルスイッチを ON にする: XML 文書ファイルが、XML エディタ 設定で指定された Schematron ルール(XML 構造のルール)に対して整合しているか 否かのチェックを行うことができます。
 - 参照: <u>7</u>:アプリケーションの設定
 - 参照: <u>8.3</u>: Schematron 機能でできるチェック

3.3.18 [オプション] スペルチェックをする

XML 文書ファイルでスペルチェックをするには、以下の手順に従います。

1 コマンドバーで[…>スペルチェック]を選択すると、プレビュー画面の右側に、スペルチェ ック・ペインが表示されます。

補足:スペルチェック・ペインと共に Bing Spell Check (Azure Cognitive Services)・ポッ プアップメッセージが表示される場合は、Azure Cognitive Services を使用するための設定 が完了していません。スペルチェックを使用するためには、Azure Cognitive Services を利 用するための設定を完了させてください。

- 2 スペルチェックする基準の言語を選択します。
- XML 文書ファイル内にスペル誤りが発見された場合は、スペルチェック・ペインにある 「テキストコンテント:」の下に、ヒットしたスペル誤りおよびその周辺のテキストが列 挙されます。
- 4 「修正候補の一覧:」から修正候補を選択すると、XML 文書ファイルが修正候補の内容に 従って修正されます。

3.3.19 [オプション] 不適切表現チェックをする

XML 文書ファイルで不適切表現チェックをするには、以下の手順に従います。

1 コマンドバーで[…>不適切表現チェック]を選択すると、プレビュー画面の右側に、不適切 表現チェック・ペインが表示されます。

補足:不適切表現チェック・ペインと共に Content Moderator (Azure Cognitive Services)・ポップアップメッセージが表示される場合は、Azure Cognitive Services を使用するための設定が完了していません。不適切表現チェックを使用するためには、Azure Cognitive Services を利用するための設定を完了させてください。

2 XML 文書ファイル内に不適切表現が発見された場合は、不適切表現チェック・ペインにある「不適切表現の一覧:」の下に、ヒットした不適切表現が列挙されます。

3.4 テキストエディターで編集する

3.4.1 テキストエディター・タブ

テキストエディター・タブの画面構成を示します。テキストエディターは、XML 要素名を含む 検索/置換など、一般的なテキストエディター・ソフトウェアに準じた編集機能を提供しま す。

注意:テキストエディターは、編集の自由度が高い反面、入力保護は最小限です。誤った文書 構造を入力するとデータが壊れます。細心の注意を払って使用してください。

\bigcirc		3443	3038 2	dita
œ £3	コアルエディタ ● 戸市ストエディタ ● 冒屈的出版		\sim	
34	(/stepresult)	$\uparrow \downarrow \equiv \mathbf{x}$		
35	<th></th> <th>Contract of the local division of the local</th> <th></th>		Contract of the local division of the local	
36	<step id="s_2"> Replace Aa 🖞 🕮</step>		SULCENSING STATE	101
37	<cmd>To add a classifier, click <uicontrol>Classify</uicontrol>.</cmd>		Concernence of	
38				
39	<step><cmd>Enter a name and description for the classifier.</cmd></step>			
40	<step><cmd>Select the classifier type:</cmd></step>		BUDAUGER	
41	<substeps><substep><cmd>Enumerated: All possible values of the classifier must be specified in the definition</cmd></substep></substeps>		Second states and	-
42	<substep><cmd>Integen: Classifien can be assigned any integen value</cmd></substep>		Shuttenaster	1000
43	<substep><cmd>string: Classifier can be assigned any string value.</cmd></substep>		8	- 1
44	<step><cmd>Click <uicontrol>Mext</uicontrol>.</cmd></step>		8	
45	<step><cmd>Click <uicontrol>Create a new rule</uicontrol>.</cmd></step>		8	
46	<step><cmd>Set up one or more rules for the classifer, then click <uicontrol>!<c cmd=""></c></uicontrol></cmd></step>		8	
47	<pre><info>Rules are conditions that, if met, set values for the classifiers.</info></pre>		8	
48	(step 10 - 5 8)		1	
49	<pre><max(optional) (which="" available<="" classifier="" for="" is="" nodes="" pre="" set="" target(s)="" the="" this=""></max(optional)></pre>		2 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	
50	T0P]. (R0)</td <td></td> <td>8</td> <td></td>		8	
51	Cantoxpir no tangets are set, then the classifier is available for all elements on all nodes.C/p>C/info-		1	
22	() step		8	
50	(SIEP) contraction additional (company)(Company) by salesting (company)(Contraction		8	
24	Characterial and Control And Control And Strength C		2	
50			8	
	sacepompr conductor compatibility and the compatibility of the compatibi		8	
50	<pre>concepter compt = stand/compt = continuonalistic filename/continuonalistic filename/continu</pre>		1 C	
50	Concentration Ammittaine in the concentration of a concentration of objections, concentrations, and con		1	
60	(Iter)		8	
61	((10)) 4		8	
62	Condisantia old alarms and filter match (tend)		1	
63	Conference of damage and factor teach teach teach items when they are no longer to a state of the state of th		÷	- 1
64	needed. Failure to resularly remove old alarms or filter match items may result in inconsistent		8	
65	reporting results.		8	- 1
66	<pre><substeps id="substeps onf ils m"></substeps></pre>		3	- 1
67	<substep></substep>		1	
68	<pre><cmd>Click (uicontrol>#ilter match items(/uicontrol>.</cmd></pre> Copy		1	
69			1	- 1
70	(substep) Common Database (St		8	- 1
71	<pre><cmd>Select <uicontrol>Filter match items</uicontrol> that no longer apply and that you wish</cmd></pre>		3	
72	to remove.c/cmd>		1	- 1
73			1	
74	<pre><substep></substep></pre>		2	
75	<cmd>Click the <uicontrol>Delete</uicontrol> button.</cmd>		2	
76	<stepresult>The old alarms and filter match items will be removed.</stepresult>	3	3	- 1
		P	1277 1	80.3

1	テキスト・ペイン	テキスト入力エリアです。一般的なテキストエディタ ー・ソフトウェアと同じマナーで編集することができま す。
		 右クリックでコンテキストメニューを起動すること ができます。
		 ショートカットキーCtrl+Fで検索メニュー、Ctrl+H で置換メニューを起動することができます。
2	スクロール・ペイン	スクロール・ペインをクリックすることによって、テキ スト・ペインをスクロールさせることができます。
3	ボトムバー	 参照: <u>3.2.2</u>: XML 文書ファイルを閉じる 参照: <u>3.2.3</u>: XML 文書ファイルを保存する 参照: <u>3.2.4</u>: バージョンを表示する 参照: <u>3.2.5</u>: URL をクリップボードへコピーする 参照: <u>3.2.6</u>: URL をメールで送信する 参照: <u>3.2.7</u>: 最大表示をする/最大表示解除をする

ユーザーガイド

4	コンテキストメニュー	参照:	<u>3.4.2</u> :すべての出現箇所を変更する
		参照:	<u>3.4.3</u> :ドキュメントのフォーマットをする
		参照:	<u>3.4.4</u> :テキストの切り取り/コピー/貼り付け
		をする	
		参照:	<u>3.4.5</u> :コマンドパレットを使う
5	検索/置換メニュー	参照:	<u>3.4.6</u> :テキストの検索/置換をする

3.4.2 すべての出現箇所を変更する

テキストエディター・タブで全ての出現箇所を同時に編集するための手順を示します。

- 1 テキスト・ペインで、複数の出現箇所を持つテキスト列の上で右クリックし、コンテキストメニューを表示させます。
- 2 Change All Occurrences ・ボタンを選択します。
- 3 複数の出現箇所を持つテキスト列全てが編集状態となります。
- 4 新たにテキストを入力すると、現在のテキスト列と置き換わります。

3.4.3 ドキュメントのフォーマットをする

テキストエディター・タブでドキュメントのフォーマット(文書整形)をするための手順を示 します。

- 1 テキスト・ペインを右クリックし、コンテキストメニューを表示させます。
- **2** Format Document・ボタンを選択します。
- 3 テキスト・ペイン内にある全てのテキスト列が整形されます。

3.4.4 テキストの切り取り/コピー/貼り付けをする

テキストエディター・タブでテキストを切り取り/コピー/貼り付けするための手順を示しま す。

- 1 テキスト・ペインで、切り取り/コピーしたい要素を選択し、右クリックでコンテキスト メニューを表示させます。
- 2 切り取り(Cut)またはコピー(Copy)を選択します。
- **3** ステップ1で選択したテキストが、クリップボードに移動またはコピーされます。
- 4 貼り付け(ショートカットキーCtrl+V)を選択すると、クリップボード内のテキストが張り付けられます。

補足:ショートカットキーを用いても同じ操作ができます。

- 切り取り: Ctrl+X
- ⊐ピー: Ctrl+C
- 貼り付け: Ctrl+V

3.4.5 コマンドを実行する

テキストエディター・タブでコマンドを実行するための手順を示します。

- 1 テキスト・ペインを右クリックし、コンテキストメニューを表示させます。
- **2** Command Palette・ボタンを選択します。
- **3** コマンドパレットが開き、コマンドを探すためのテキストフィルターが使用可能になります。
- 4 コマンドパレット・リストの中の項目を選択すると、コマンドを実行することができます。

3.4.6 テキストの検索/置換をする

テキストの検索をしたり、置換をしたりするには、検索/置換・パネルを使用します。 検索/置換・パネルにはショートカットキーでアクセスできます。

- 検索: Ctrl+F
- 置換: Ctrl+H

注意:ショートカットキーを利用するときは、検索/置換・パネル内にカーソルを合わせてください。



1	検索語入力・テキストボ ックス	検索対象のテキストを入力できます	Ctrl+F
2	大文字と小文字を区別す る・ボタン	大文字と小文字を区別する/しないを切 り替えることができます	Alt+C
3	単語単位で検索する・ボ タン	完全一致/部分一致を切り替えることが できます 完全一致で検索すると、検索語入力・テ キストボックスに入力されているのと全 く同じ文字列のうち、スペースや括弧で 区切られているものだけヒットします。 部分一致で検索すると、検索語入力・テ キストボックスに入力されているのと全 く同じ文字列は全てヒットします。 注意: 大文字と小文字は区別されませ ん。	Alt+W
4	正規表現を使用する・ボ タン	正規表現を使用する/しないを切り替え ることができます	Alt+R
5	検索結果表示・ラベル	検索ヒット数が表示されます	-

6	前の検索結果・ボタン	前の検索結果をハイライトします	Shift+Enter
			または
			Shift+F3
7	次の検索結果・ボタン	次の検索結果をハイライトします	Enter
			または
			F3
8	選択範囲を検索・ボタン	現在の選択範囲を検索対象に設定します	Alt+L
		注意: テキスト範囲を選択していない場	
		合、選択範囲を検索・ボタンでの設定は	
		できません。	
9	閉じる・ボタン	検索/置換・パネルを閉じます	esc (Escape)
10	置換モードの切り替え・	置換機能の表示/非表示を切り替えます	-
	ボタン		
11	- 置換語入力・テキストボ	置換対象のテキストを入力できます	Ctrl+H
	ックス		
12	置換・ボタン	次の置換を実行します	Ctrl+Shift+1
13	全て置換・ボタン	全置換を実行します	Ctrl+Alt+Enter
		補足: 「範囲選択を検索・ボタン」を押	
		してから全て置換を実行すると、置換範	
		囲は選択範囲に制限されます。	

3.4.7 元に戻す/やり直し

テキストエディターで、編集操作を元に戻したり編集操作をやり直したりするには、ショート カットキーを使用します。

- 元に戻す: Ctrl+Z
- やり直し: Ctrl+Y

注意:各タブの編集履歴は独立しています。タブでテキストエディターからビジュアルエディ ターに切り替えると、テキストエディター側の編集履歴の記録は止まり、ビジュアルエディタ ー側の編集履歴の記録が始まります。この際、テキストエディター側の編集履歴は破棄されま す。

3.5 改訂履歴を閲覧する

3.5.1 履歴/比較・タブ

履歴/比較・タブの画面構成を示します。



SXC CLOUD - SharePoint 版

ユーザーガイド

6	ディバイダー	リスト・ペインとテキスト表示・ペインを隔てるディバ イダーです。ドラッグで移動させることができます。
7	Up・ボタン	ボタンを押すと、ディバイダーが上に移動されます。
8	Down・ボタン	ボタンを押すと、ディバイダーが下に移動されます。
9	テキスト表示・ペイン	比較結果が左右にテキスト表示されます。
		左側により新しいバージョンが表示されます。
		参照: <u>3.5.2</u> :比較結果の表示スタイル

3.5.2 比較結果の表示スタイル

比較は行ごとに行われます。比較結果の表示スタイルは下表の通りです。

比較結果の表示スタイル

テキスト表示・ペイン	新バージョン (左側)	旧バージョン (右側)
差異がある行の背景		
新バージョンで 追加 された部分		N/A
新バージョンで 削除 された部分	N/A	
他方にない行	11	11

3.5.3 編集中のバージョンと比較する

履歴/比較・タブで編集中のバージョンと過去のバージョンを比較するための方法を示しま す。

XML	編集 (lixi	il-dita.dita : j	a-jp : 1.0)						\bigcirc	Smart XML Creator	OUD ×
回 ビシ	ジュアルエラ	ディタ ロテキン	ストエディタ 5	履歴/比較							
	Version	XML タイトル	XML タイプ	XML言語	XMLバージョン	XML検証	XMLコメント	更新日時	更新者	自動抽出タグ	承認の状態
0	2.0	名称未設定	topic	ja-jp	1.0			2020/09/18 13:23:36		<mark>ブランド名,製品名</mark> ,豊	
	1.0	名称未設定	topic	ja-jp	1.0			2020/09/18 11:12:39			
ţ	,編集中との	2 の比較 🖏 限歴の	D比較				3				~ ~
SXC	CLOUD for	SharePoint						Ŕ	· ~ 2	日 保存	╳ 閉じる

- 1 リスト・ペインで、比較したい過去のバージョンを一つ選択します。選択した行の左端に はチェックマークが表示されます。
- 2 編集中との比較・ボタンを押します。
- 3 テキスト表示・ペインに比較結果が表示されます。

補足:左側が編集中のバージョン、右側がステップ1で選択した過去のバージョンです。

補足:比較結果の表示スタイルについては以下を参照してください。

- 参照: <u>3.5.2</u>:比較結果の表示スタイル

3.5.4 過去のバージョンを比較する

履歴/比較・タブで過去のバージョン同士を比較するための方法を示します。

XML編集 (lixil-dita.dita : ja-jp : 1.0)								$\hat{\Box}$	Smart XML Creator	oud ×
■ { 1	ディタ ロテキン	ストエディタ 🕄 -) 履歴/比較							
Versio	n XML タイトル	XML タイプ	XML言語	XMLバージョン	XML検証	XMLコメント	更新日時	更新者	自動抽出タグ	承認の状態
2.0	名称未設定	topic	ja-jp	1.0			2020/09/18 13:23:36		<mark>ブランド名,製品名</mark> ,豊	
2 1.0	名称未設定	topic	ja-jp	1.0			2020/09/18 11:12:39			
2 以 編集中	との比較 β 履歴の	3 D比較				4				~ V
SXC CLOUD 1	or SharePoint						<u>اط</u>	~	日保存	☓閉じる

- 1 リスト・ペインで、比較したい過去のバージョンの一つ目を選択します。選択した行の左端にはチェックマークが表示されます。
- 2 リスト・ペインで、比較したい過去のバージョンの二つ目を選択します。選択した行の左端にはチェックマークが表示されます。
- 3 履歴の比較・ボタンを押します。
- 4 テキスト表示・ペインに比較結果が表示されます。

補足:左側により新しいバージョンが表示されます。

補足:比較結果の表示スタイルについては以下を参照してください。

- 参照: <u>3.5.2</u>:比較結果の表示スタイル

3.5.5 ビジュアル比較をする

3.5.5.1 ビット比較(オープンソース) ファイル先頭から順次比較していくロジックです。

ビット比較 (オープンソース)

ビジュアル比較画面	新バージョン (画面左側)	比較 (画面中央)	旧バージョン (画面右側)
差異がない部分	N/A	プレビュー画面と 同じ	N/A
差異がある部分	N/A	赤色	N/A

補足:ビット比較(オープンソース)は、ファイル先頭から順次比較していくロジックで あるため、ファイル先頭に差異があると、以降の位置がずれ、全体に差異ありと判定する 場合があります。

3.5.5.2 ビット比較 (CMC)

ファイル先頭から順次比較していくロジックです。新旧のバージョンを画面左右に表示し、そ れぞれに他方の異なる部分を重ねて表示します。

ビット比較 (CMC)

ビジュアル比較画面	新バージョン (画面左側)	旧バージョン (画面右側)
双方差異がない部分	プレビュー画面と同じ	プレビュー画面と同じ
差異:自バージョンにあ る部分	緑色	マゼンタ色
差異:他方にある部分	マゼンタ色	緑色

補足:ビット比較(CMC)は、ファイル先頭から順次比較していくロジックであるため、 ファイル先頭に差異があると、以降の位置がずれ、全体に差異ありと判定する場合があり ます。 3.5.5.3 スマート比較 (CMC)

コンテンツをブロック単位で比較していくロジックです。新旧のバージョンを画面左右に表示 し、それぞれに他方の異なる部分を重ねて表示します。

スマート比較 (CMC)

ビジュアル比較画面	新バージョン (画面左側)	旧バージョン (画面右側)
双方差異がない部分	プレビュー画面と同じ	プレビュー画面と同じ
差異:自バージョンにあ る部分	緑色	マゼンタ色
差異:他方にある部分	マゼンタ色	緑色

補足:スマート比較(CMC)は、コンテンツをブロック単位で比較していくロジックであ るため、ファイル先頭に差異があっても、以降の位置がずれません。よって、ビット比較 よりもよい比較結果が得られる場合があります。

4 DITA 特有の機能

4.1 画像を参照する

4.1.1 画像を直接参照する

トピック・ファイルの要素に画像を設定するための方法を示します。

事前に、SXC CLOUD でトピック・ファイルを開いておきます。要素に画像を設定するには、 以下の手順に従います。

1 ビジュアルエディターで要素を選択します。

注意: 要素がテキスト編集モードで選択されている場合は、ブロック編集モードに切り替 えてください。テキスト編集モードで、画像の設定はできません。ブロック編集モード 時、要素の背景は水色で示されます。テキスト編集モードとブロック編集モードは、Enter キーで相互に切り替えられます。

1 ミニツールバーで[[≤] >)</sup> > 画像の設定]を選択し、画像選択・ダイアログボックスを開きます。

注意:画像の設定・ボタンが選択できない場合、その要素に画像は設定できません。

- 2 ダイアログボックスの中から、望みの画像ファイルを選択します。
- 3 ダイアログボックス下端の OK・ボタンを選択し、参照を確定します。

4.2 トピックまたはマップ・ファイルを参照する

4.2.1 トピックまたはマップ・ファイルを直接参照する

トピック・ファイルの要素に参照を設定するための方法を示します。

事前に、SXC CLOUD でトピック・ファイルを開いておきます。要素に参照を設定するには、 以下の手順に従います。

1 ビジュアルエディターで要素を選択します。

注意:要素がテキスト編集モードで選択されている場合は、ブロック編集モードに切り替えなければなりません。テキスト編集モードで、参照の設定はできません。ブロック編集モード時、要素の背景は水色で示されます。テキスト編集モードとブロック編集モードは、Enterキーで相互に切り替えられます。

2 ミニツールバーで[[≤]→ >参照の設定]を選択し、参照の設定・ダイアログボックスを開き ます。

注意:参照の設定・ボタンが選択できない場合、その要素に参照は設定できません。

- 3 ダイアログボックスの中から、望みのトピックまたはマップ・ファイルを選択します。
- 4 ダイアログボックス下端の OK・ボタンを選択し、参照を確定します。

4.3 再利用コンテンツを参照する

4.3.1 再利用コンテンツを直接参照する

トピック・ファイルの要素に再利用コンテンツへの参照を設定するための方法を示します。

事前に、SXC CLOUD でトピック・ファイルを開いておきます。要素に再利用コンテンツの設 定をするには、以下の手順に従います。

1 ビジュアルエディターで要素を選択します。

注意:要素がテキスト編集モードで選択されている場合は、ブロック編集モードに切り替えなければなりません。テキスト編集モードで、再利用コンテンツ挿入の設定はできません。ブロック編集モード時、要素の背景は水色で示されます。テキスト編集モードとブロック編集モードは、Enter キーで相互に切り替えられます。

2 ミニツールバーで[[≤]→ >再利用コンテンツの設定]を選択し、再利用コンテンツの設定・ ダイアログボックスが開きます。

注意:再利用コンテンツの設定・ボタンが押せない場合、その要素に再利用コンテンツは 設定できません。

- 3 リストの中から、再利用コンテンツを含むトピック・ファイルを選択します。
- 4 ダイアログボックス下端の さらに要素を設定・ボタンを選択し、トピック・ファイルを開きます。
- 5 トピック・ファイルの中から、再利用する要素を選択し、「再利用 ID」行の プルダウンメ ニューを開き この要素の ID を再利用 ID に指定する・ボタンを選択します。

注意:ステップ1で選択した要素と同じ XML 要素名の要素だけが選択できます。また、ID 属性値を持たない要素は選択できません。

6 範囲選択する場合:

再利用するコンテンツを範囲選択する・トグルスイッチを ON にする

トピック・ファイルの中から、再利用する要素の後端に位置する要素を選択し、「再利用 ID(終点)」行の プルダウンメニューを開き この要素の ID を再利用 ID に指定する・ボタン を選択します。

注意:ステップ1で選択した要素と同じ XML 要素名の要素だけが選択できます。また、ID 属性値を持たない要素は選択できません。

7 ダイアログボックス下端の OK・ボタンを選択し、参照を確定します。

5 データのインポート

5.1 ファイル/フォルダーをインポートする

ファイル/フォルダーをインポートする手順を示します。

- 1 ブラウザの SharePoint 画面内で、インポート先にしたいドキュメントライブラリーを開き ます。
- 2 ローカル PC 上で、インポートしたいファイルをドラッグし、ブラウザの SharePoint 画面 内でドロップします。
- 3 SharePoint 画面内のドキュメントライブラリーに、ドロップしたファイル/フォルダーが 保存されます。

5.2 インポートできるファイルタイプ

5.2.1 インポートできる XML 文書ファイルタイプ

ドキュメントライブラリーにインポートできる XML 文書ファイルタイプを示します。

ファイルタイプ	拡張子	解説
dita ファイル	.dita もしく は.xml	
ditamap ファイル	.ditamap	

5.2.2 インポートできる画像ファイルタイプ

ドキュメントライブラリーにインポートできる画像ファイルタイプを示します。

ファイルタイプ	拡張子	解説
jpg ファイル	.jpg, .jpeg	
tif ファイル	.tif, .tiff	
gifファイル	.gif	
png ファイル	.png	
svg ファイル	.svg	

6 データのエクスポート

6.1 ファイル/フォルダーをエクスポートする

ファイル/フォルダーをエクスポートする手順を示します。

1 エクスポートしたいファイル/フォルダーを選択します。(複数選択もできます)

	\square	名前 ~			更新日時 🗸
0		image	È	÷	8月27日
		CHECK_THE_SERIAL_NUMBER_OF	_DRIVE	R	8月27日
		CHECK_THE_SERIAL_NUMBER_OF	_DRIVE	R	8月27日

2 トップバーで [ダウンロード]を選択します。

ピー ↓ ダウンロード 💼 削除		X 1 ፖイテ
場処置] 完了案件 > XX-01 >	- 完成品 >	XX-01_CH
	更新日時~	更
ie :	更新日時 ~ 8月27日	更 本

3 ローカル PC のダウンロード・フォルダーに、選択したファイル/フォルダーがダウンロードされます。

補足:ステップ1でファイル/フォルダー複数選択した場合は、それらを含む一つの Zip ファイルとしてダウンロードされます。

7 アプリケーションの設定

SXC CLOUDの設定は、以下に示す設定ファイルによって行います。

項目名	詳細	設定詳細	保存場所
XML エディタ設定 (xmleditor-settings.json)	XML エディタ設定全般を保 存するファイルです	設定ファイル参照	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ xmleditor-settings.json
ライセンス (SXC4SPLICENSE.txt)	SXC CLOUD のライセンスフ ァイルです	設定ファイル参照	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/ SXC4SPLICENSE.txt
XSLT	プレビュー画面の表示を設定 するファイルです	設定ファイル参照	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/dita1.3/xslt/ *.xslt
DTD	XML 文書ファイルのチェッ クに使用するファイルです	参照: 8.2:サポ ートする XML 文書 タイプ	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/dita1.3/dtd/ *.dtd
Schematron	XML 文書ファイルのチェッ クに使用するファイルです	参照: 8.3: Schematron 機能で できるチェック	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/dita1.3/sch/ *.xml
テンプレート	XML 文書ファイルの新規作 成に使用するファイルです	参照: 8.2:サポ ートする XML 文書 タイプ	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/dita1.3/template/ *.dita *.ditamap *.xml
XML スニペット	XML 文書ファイルに特定の 組合せの XML 断片を挿入で きるように設定するためのフ ァイルです	参照: 8.4:XML スニペット機能でで きる入力	[サイト]/ [ドキュメントライブラリー]/ config/dita1.3/snippets/ *.xml

SXC CLOUD の設定ファイル

8 補足資料

8.1 SXC CLOUD のショートカットキー

8.1.1 編集系

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Enter	テキスト編集モード/ブロック編集モード の切り替え	下に行追加(選択範囲あれば、内容消去)
Character Keys	文字入力	文字入力
Delete	カレント要素を子孫要素ごと削除 削除後以下の優先順で要素選択: - (削除されたカレント要素の)弟要素 - (削除されたカレント要素の)親要素	右一字消去
Back Space	カレント要素を子孫要素ごと削除 削除後以下の優先順で要素選択: - (削除されたカレント要素の)兄要素 - (削除されたカレント要素の)親要素	左一字消去
Tab	次のテキスト編集可能要素に要素フォー カス移動	カーソル位置に Tab 追加(選択範囲あれ ば、全体をインデント)
Shift+Tab	前のテキスト編集可能要素に要素フォー カス移動	行/範囲選択行を一定量アウトデント
Ctrl+X	選択要素を切り取り	範囲選択物を切り取り
Ctrl+C	選択要素をコピー	範囲選択物をコピー
Ctrl+V	クリップボードの要素を貼り付け	貼り付け
Ctrl+Z	元に戻す	元に戻す
Ctrl+Y	やり直し	やり直し
Ctrl+Shift+ ↑	N/A	N/A
Ctrl+Shift+↓	N/A	N/A
Ctrl+Shift+→	N/A	N/A
Ctrl+]	N/A	行/範囲選択行を一定量インデント
Ctrl+[N/A	行/範囲選択行を一定量アウトデント

ユーザーガイド

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Ctrl+/	N/A	行/範囲選択物をコメントアウト
Shift+Alt+A	N/A	コメント追加

8.1.2 検索と置換

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Ctrl+F	N/A	検索語入力テキストボックスを表示する
Ctrl+H	N/A	置換語入力テキストボックスを表示する
Enter または F3	N/A	検索/置換・パネルにキャレットある状態 で、次の一致に飛ぶ
Shift+Enter または Shift+F3	N/A	検索/置換・パネルにキャレットある状態 で、前の一致に飛ぶ
Alt+C	N/A	検索/置換・パネルの Case-sensitive をト グル
Alt+R	N/A	検索/置換・パネルの正規表現をトグル
Alt+W	N/A	検索/置換・パネルの完全一致をトグル
Ctrl+Shift+1	N/A	次の置換実行
Ctrl+Alt+Enter	N/A	全置換実行

8.1.3 選択/カーソル移動系

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
↑ (要素フォーカス移動(上方向)	カーソル移動(上一行分)
\downarrow	要素フォーカス移動(下方向)	カーソル移動(下一行分)
←	要素フォーカス移動(兄方向)	カーソル移動(左一字分)
\rightarrow	要素フォーカス移動(弟方向)	カーソル移動(右一字分)
Home	テキスト編集モードに移行(行頭)	カーソル移動(文頭に飛ぶ)
End	テキスト編集モードに移行(行末)	カーソル移動(行末に飛ぶ)
Ctrl+Home	ファイル先頭要素選択	ファイル先頭行にカーソル移動

ユーザーガイド

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Ctrl+End	ファイル末尾要素選択	ファイル末尾行にカーソル移動
Ctrl+A	全テキスト選択	全テキスト選択
Shift+ ↑	N/A	範囲選択(方向キーを追加押しすることで 範囲拡張)
Shift+ ↓	N/A	範囲選択(方向キーを追加押しすることで 範囲拡張)
Shift+←	N/A	範囲選択(方向キーを追加押しすることで 範囲拡張)
Shift+→	N/A	範囲選択(方向キーを追加押しすることで 範囲拡張)
Ctrl+G	N/A	入力された行番号にカーソル移動

8.1.4 画面移動系

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Ctrl+ ↑	要素フォーカス移動なしに上スクロール (行毎)	カーソル移動なしに上スクロール(行毎)
Ctrl+ ↓	要素フォーカス移動なしに下スクロール (行毎)	カーソル移動なしに下スクロール(行毎)
PgUp	要素フォーカス移動なしに上スクロール (画面毎)	上スクロール(画面毎)
PgDn	要素フォーカス移動なしに下スクロール (画面毎)	下スクロール(画面毎)

8.1.5 UI 制御など

キーバインド	ビジュアルエディター	テキストエディター
Alt+Q	ツリー表示モードの切り替え	N/A
Alt+M	N/A	N/A
Alt+N	N/A	N/A
Alt+Z	N/A	N/A
Ctrl+Shift+[N/A	範囲を閉じる
Ctrl+Shift+]	N/A	範囲を開く

8.2 サポートする XML 文書タイプ

8.2.1 Darwin Information Typing Architecture (DITA) Version 1.3

XML 文書タイプ/ テンプレート/ DTD	文書アーキテクチャー	拡張子	テンプレート の系統
Topic / topic.dita / topic.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Base Topic / basetopic.dita / basetopic.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Concept Topic / concept.dita / concept.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Reference Topic / reference.dita / reference.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
General Task Topic / generalTask.dita / generalTask.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Strict Task Topic / task.dita / task.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Machinery Task Topic / machineryTask.dita / machineryTask.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Troubleshooting Topic / troubleshooting.dita / troubleshooting.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Glossary Entry Topic / glossentry.dita / glossentry.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Glossary Group Topic / glossgroup.dita / glossgroup.dtd	DITA 1.3	.dita	トピック
Map/map.ditamap/map.dtd	DITA 1.3	.ditamap	マップ
Base Map / basemap.ditamap / basemap.dtd	DITA 1.3	.ditamap	マップ
Book Map / bookmap.ditamap / bookmap.dtd	DITA 1.3	.ditamap	マップ
Subject Scheme Map / subjectScheme.ditamap / subjectScheme.dtd	DITA 1.3	.ditamap	マップ
Classification Map / classifyMap.ditamap / classifyMap.dtd	DITA 1.3	.ditamap	マップ

8.3 Schematron 機能でできるチェック

8.3.1 文字数制限

文字数制限に関連した Schematron チェックは以下の通り。

エラーメッセージ/対象ノード	解説	パターン ID
エラーメッセージ: title 要素内のテキストは、40文字以 内にしてください 対象ノード:	対象ノード内のテキストが 40 文字以上の 場合、メッセージを表示します。	check-title- text-length
title		

8.3.2 文字とp要素についての制限

文字とp要素についての制限に関連した Schematron チェックは以下の通り。

エラーメッセージ/対象ノード	解説	パターン ID
エラーメッセージ:	対象ノード内にテキストが直接入力され	check-p-in-li
li 要素内のテキストは、p 要素で括って ください。	ている場合、メッセージを表示します。	
対象ノード:		
li		
エラーメッセージ: section 要素内のテキストは、p 要素で 括ってください。	対象ノード内にテキストが直接入力され ている場合、メッセージを表示します。	check-p-in- section
対象ノード:		
section		
8.4 XML スニペット機能でできる入力

8.4.1 リストアイテム追加

リストアイテムに関連した XML スニペット入力は以下の通り。

コマンド名/使用可能条件/挿入内容	スニペット ID
コマンド名: リストアイテム追加	add-li-with-p
使用可能条件:以下要素選択時に使用可能となる	
- li (リスト・項目)	
- ol(順序ありリスト)	
- ul(順序なしリスト)	
挿入内容:	
• p - empty	

9 困ったときは

9.1 よくある質問

9.1.1 SharePoint で XML 文書ファイルを選択しても、XML 編集・ボタンが表示されない

ファイルに XML 文書タイプが指定されていない場合、SXC CLOUD はそのファイルを XML 文 書ファイルと見なしません。よって、そのファイルを選択しても、XML 編集・ボタンは表示さ れません。

この場合は、列一括更新をしてファイルに XML 文書タイプを指定したのち、そのファイルを 選択し直してください。XML 編集・ボタンが表示されるようになります。

- 参照: <u>2.3.2</u>:列一括更新をする

補足:XML 文書ファイルに指定されている XML 文書タイプは、ドキュメントライブラリーの XML タイプ・列で確認できます。

以下の場合、指定されている XML 文書タイプは「topic」です。

ν \sim	XML タイプ 〜	XN
手入れ	topic	ja-j

9.1.2 SharePoint の画面更新が遅い場合がある

- このような場合に発生:
 - 「列一括更新」を実行した後
 - ファイルを上書き保存した後
 - ファイルを新規作成した後
 - OneDrive 同期でローカル側フォルダーを更新した後
- 対処方法:
 - ブラウザリロード
 - ブラウザキャッシュクリア

9.1.3 SharePoint で XML を検索直後に開くと、画像などのリンクが壊れている

- このような場合に発生:
 - SharePoint で XML を検索した直後に XML を開く
- 対処方法:
 - 検索直後は、検索結果画面が表示されている。XMLが保存してあるフォルダー階層に 移動してから XML を開く

9.1.4 要素を選択したとき、プレビュー・ペインの表示が崩れる

SXC CLOUD では、パラグラフ要素またはインライン要素の中にブロック要素を入れることは できません。プレビュー・ペインが正しく表示されなくなりますので、このような入力はお避 けください。

- 以下のような XML が入力された場合、プレビュー・ペインの表示が崩れます。

```
The list:
First list item
Second list item
Third list item
</up>
The list: D
Differst list item
```

```
▶ Third list item
```

- このような場合、代替として以下のような構造をお勧めします。

```
<div>
  The list:

    First list item
    Second list item
    Third list item

</div>
```

div :

The list:

- First list item
- Second list item
- Third list item

10 サポート情報

ご不明な点は専用サイトをご覧ください。 その他、各種お問い合わせはメールにて承っております。

Mail : <u>sxc-support@cmc.co.jp</u>

11 発行情報

- 発行日: 2021 年 4 月 30 日初版発行
- 発行所:株式会社シイエム・シイ

〒460-0021 名古屋市中区平和 1-1-19

- Web : <u>https://www.cmc.co.jp/</u>
- Mail: <u>sxc-contact@cmc.co.jp</u>